

社労士業務ブラッシュアップセミナー2022

申込区分	テーマ	講師	送付予定
B	労働条件の不利益変更	秋山 幸子 山崎 泉 小谷 富士子	7/20頃

- ◎ 不利益変更のリスクは何か！
- ◎ 失敗事例、企業の状況に応じた就業規則・賃金規程改定時の的確なアドバイス！
- ◎ トラブル回避し、「人を大切にする企業づくり」を後押しする社会保険労務士の実践ノウハウ！

【テーマが求められる背景】

新型コロナウイルスの感染拡大、少子高齢化、働き方改革、コスト増など企業をめぐる経営環境の変化が目まぐるしい中で、企業が労働条件を変更しようと考えたとき、「労働者からの反発を避けたい」との相談に、社会保険労務士はどう答えるか。

労働者が不満を抱いたとき、労働審判や訴訟に訴えることがあります。合意していたはずの「労働者の合意」が否定されるケース、就業規則改定による労働条件の切り下げが訴訟で無効と判断されるケースなどがある中で、トラブルを回避し、企業の持続性を支援することが求められています。

【講義内容】

本テーマでは、実務経験豊富な三人の社会保険労務士が顧問先等において、賃金や退職金に係る労働条件の不利益変更を相談された際に、どのような手順で、どのようなことに留意して実践したかをいくつか取り上げて紹介するとともに、報酬、顧問先等との信頼関係の深まり、その後の対応等についてレジュメや資料をもとに解説します。

【カリキュラム（予定）】

《ステップ1》「労働条件不利益変更」でどのようなことが起きているか

《ステップ2》Q&A で解説 リスク回避の手順と留意点

《ステップ3》キーポイントは「合理性」と「客観性」

《ステップ4》社会保険労務士のこれからの役割について